

科目名	機械工学実験実習	科目コード	11010
-----	----------	-------	-------

学科名・学年	機械工学科・1年
担当教員	機械工学科長
区分・単位数	履修単位科目・必修・3単位
開講時期・時間数	通年，90時間【内訳：講義0，演習0，実験90，その他0】
教科書	
補助教材	独自に作成したプリントを配布する。
参考書	

【A．科目の概要と関連性】

機械技術者の基礎的素養として、機械工作法と工作機械類およびその関連分野について理解し、工作・加工技術と技能を習得することを目的とする。そのために、機械工作と機械加工、およびその関係分野についての様々な実習を行う。

【B．到達目標と学習・教育目標との対応】

この科目は長岡高専の学習・教育目標の(D)と主体的に関わる。

この科目の到達目標と、各到達目標と長岡高専の学習・教育目標との関連を以下の表に示す。

到達目標	評価の重み	学習・教育目標との関連
基本的な機械工作法の種類と工作機械についての知識を習得する。		d2
基礎的な工作技術・技能や加工技術・技能を習得する。		d3

【C．履修上の注意】

安全第一であるので、指導教職員の注意をきちんと守って実習を行うこと。服装と履物については危険でないものを着用すること。この実習で積んだ経験が3年次の「総合製作」や5年次の「卒業研究」で必ず役に立つので、積極的に実習に取り組んでもらいたい。

評価は、実習状況（出席と実習態度）と各テーマの期限までに提出された実習レポートの平均によって行われる。やむを得ず欠席する場合は、必ず担当職員または機械工学科長に申し出ること。実習状況が悪い場合には、減点することがある。また実習レポートの提出期限は厳守し、すべて提出すること。

【D．評価方法】

次に示す項目・割合で達成目標に対する理解の程度を評価する。50点以上を合格とする。

定期試験（0%）

その他の試験（0%）

レポート（100%）【内訳：テーマごとの平均。ただし、実習状況で減点することがある。】

その他（0%）

【E. 授業計画・内容】

前期

回	内容	備考
1	導入教育, 安全教育	
2		
3	以下の4つのテーマについて、少人数のグループに分かれて実習する。 1. 旋盤(1) 2. フライス盤(1) 3. 手仕上げ 4. 測定	
4		
5		
6		
7		
8		
9		
10		
11		
12		
13		
14		
15	実習のまとめと整理	

後期

回	内容	備考
1	以下の4つのテーマについて、少人数のグループに分かれて実習する。 1. 旋盤(2) 2. フライス盤(2) 3. 溶接 4. エンジンの分解・組み立て	
2		
3		
4		
5		
6		
7		
8		
9		
10		
11		
12		
13	ビデオ学習	
14		
15	実習のまとめと整理	